

中札内村総合行政推進委員会 第1回財政部会 会議録

日 時 令和8年9月29日（火） 18:00～19:40
場 所 役場庁舎 会議室2
出席委員 井川晃博、後藤友太、山村知香、渡邊環、菅健人、松本拓也、森田友昭
八木旭（8名）
欠席委員 なし
事 務 局 総務課長 渡辺大輔、住民課長 平山直人、福祉課長 下浦強
消防署長 山澤康宏
総務課長補佐 加藤千晶、総務課主査 重松和希

議 事

（開 会） 18:00

（渡辺課長） 皆様お忙しい中、財政部会に出席いただきまして誠にありがとうございます。
本日は令和7年度に実施した事業の政策評価の結果について、皆さんからご意見を頂きますので、よろしくお願いいたします。
それでは、部会長から挨拶をお願いいたします。

（後藤部会長） 皆さんこんばんは。本日は第1回目の財政部会であり、不慣れではありますが、円滑に進行していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

（渡辺課長） これからの議事は、部会長の進行で進めさせていただきます。よろしくお願い致します。

（後藤部会長） それでは、審議を進めさせていただきます。
審議事項の令和7年度事業に関する政策評価について概要説明を事務局からお願いします。

（加藤補佐） それでは、審議事項の令和7年度事業に関する政策評価について説明いたします。

「政策評価」とは、行政が実施している施策や事務事業について、業務の内容・成果を毎年度点検・検証し、その評価結果を次の政策の立案や推進に活かすことで、政策の質的向上を図るための手法です。

なお、村のまちづくり基本条例において、政策評価を実施し、村民参加による評価を行うことと規定しています。

評価にあたっては3段階で行うこととしており、第一次評価として担当課による事務事業評価、第二次評価として村長・副村長による評価、そして今回、第三次評価として総合行政推進委員会による村民評価を行いまして、それぞれの視点で事業の検証・評価を行っています。なお、第一次評価と第二次評価につ

いてはすでに実施済です。

(後藤部会長) 政策評価の概要について説明がありました。
続いて、各実施事業の審議を始めて行きたいと思います。進め方について、事務局から説明をお願いします。

(加藤補佐) 本日の財政部会では、総務課、住民課、福祉課、消防に係る令和7年度事業に関する政策評価について、事前に抽出した8つの節に関して、委員の皆様からご意見をいただきます。
評価書のすべてを説明するとかなりの時間が掛かりますので、1つの節ごとに、各課長等からポイントをしばって評価書の説明をしたのち、1節ごとに、皆さんから意見を伺います。

(後藤部会長) 進め方についてはよろしいでしょうか。

(意見等なし)

それでは、資料で「評価対象」に○が付いている事業について、記載の順番どおり、総務課から説明をお願いします。

ー以下、順に担当課長により説明し、質疑応答ー

【P.6～ 効率的で健全な行財政運営】

(委員) 生成AIシステムを使用しての業務改善を行っているのでしょうか。

(渡辺課長) 行政用の無料AIがあり、そちらを活用して文章作成を行っています。
有料版になると、過去の議会答弁を読み込み答弁書の作成補助をするなどの機能がありますので、今後検討を進めています。生成AIは業務の効率化やミスのチェックをできる反面、AIに頼りすぎてもミスの要因になることがあるため、AIを有効に使う能力を身につける必要があると考えています。

(委員) 住民票のコンビニ交付について、費用がかかると聞いたことがありますが住民サービスの向上につながると思います。導入の予定はあるのでしょうか。

(平山課長) コンビニ交付導入の要望は聞いており、効率化も見込めるかもしれませんが、導入費用、ランニングコストがかかってくるため、他自治体の動向を含めて検証中というところです。

(委員) ふるさと納税の寄附額が前年比4割減となっています。例年下がっている要因は検証されているのでしょうか。また、返礼品を出している業者が減っているのではないのでしょうか。

- (渡辺課長) 村内事業者が減っていることはありません。セットや量など、バリエーションは増えています。下がっている要因としては、物価高騰により全国的に米や日用品に寄附が流れる傾向があると受け止めています。
- クラウドファンディングを除くと、令和6年、令和7年とも3億円程度です。今年度は村の公共施設に対する維持管理のクラウドファンディングなど新しい取組を始めました。村内事業者にもクラウドファンディングを紹介していきますが、事業者にとっても自己資金が必要になります。
- 総務省による制度変更により、昨年10月からは、今までふるさと納税をすることでサイトのポイントが付与されていたものが廃止されたり、今年10月からは経費率や経費の証明などの公表が義務付けられるなど、お得感が減ったり取扱い品が減るなどの動きが全国であると予想しています。
- (委員) 現地体験型のふるさと納税の実績と、今後の方針はどうでしょうか。
- (渡辺課長) ピアノ体験や宿泊など体験メニューは用意していますが、メニューを増やしても寄附額の増加には直結していません。ふるさと納税自体がネットショッピング化しているのが現状です。
- しかしながら、中札内村を訪れていただく体験型を増やしていきたいと考えており、クラウドファンディングで整備した馬車ツアー体験などを検討していきたいです。

【P82～ 自然環境の保全と景観形成】

- (委員) 景観行政団体に移行すると、今後は戸建て住宅の建設の際に届出が必要になるのでしょうか。
- (渡辺課長) 戸建て住宅の建設にあたっても基準が適用されますが、届出が負担とならないよう建築確認申請に合わせて届出していただくことを考えています。一般の住宅ではよっぽど奇抜な色でなければ問題はないと考えています。メガソーラーなどを立てることで日高山脈の景観を阻害するということがあれば協議が必要となります。
- (委員) メガソーラーが見えるという理由で物件の購入を断念されるケースも聞いているので、良い取組だと思います。
- (渡辺課長) 再生可能エネルギーの促進という面で、メガソーラーを禁止するものではありませんが、場所について協議する場合があります。
- (委員) 建物の外壁の色も届出が必要ですか。
- (渡辺課長) パースでの提示や、色を決定した際に届出していただくことを想定しています。

(委 員) 既存の建物についても対象になるのでしょうか。

(渡辺課長) 既存の建物は対象外となります。

【P13～ 子育て支援の充実】

(委 員) 児童館については利用の条件があるため、家庭の状況が変わると利用ができなくなる児童もいると思います。途中で使えなくなってしまうと、児童同士でのコミュニケーションに影響が出るのではないのでしょうか。継続して入れる仕組みはないのでしょうか。

(下浦課長) 放課後児童クラブの場合は利用定員があり、条件を満たさない場合は利用休止や退所となります。児童館は誰でも利用できますが、放課後児童クラブを利用する児童とは過ごし方が異なる場合もあります。ご意見いただきましたので、参考とさせていただきます。

(委 員) 子どもの目線で考えると、今まで児童館で出来ていたコミュニケーションが出来なくなること、いじめに発展する可能性もあると考えられるので、検討していただきたいと思います。

【P17～ 高齢者福祉の充実】

(委 員) 日常生活自立支援事業は、本人の同意がなくても家族の申し出で利用できないのでしょうか。

(下浦課長) 申し出は親族でも良いですが、最終的には本人の了承が必要となります。この事業はある程度自分で日常生活を送ることができている方の事業であり、判断能力が難しい方は成年後見制度など法的な支援の対象になってきます。

(委 員) 社会福祉協議会に勤めているのでわかる範囲でお答えしますと、本人に確認をすると日によって答えが変わることもあります。最終的に事業を利用できるかどうかは北海道の判断になりますが、村でも申請の支援をしますので、相談していただければと思います。

(委 員) 除雪サービスについて、排雪にも苦慮している方がいると思います。業者と連携してできる仕組みがあれば住みやすい村になると思います。

(下浦課長) 除雪サービスの担い手も少なくなっているので、業者にお願いすることも今後は検討していきたいです。

(委 員) デマンド型交通について、福祉移送サービスとの区別はどうするのでしょうか。

（下浦課長） 現在実証運行しているデマンド型交通は、村民の方であれば条件なく使えますが、福祉移送サービスは介護度などの条件があります。

（委 員） 利用者の立場になると使いやすいサービスを利用すると思います。

（下浦課長） 福祉移送サービスでは今後担い手の高齢化が進めば、新しい担い手の確保も課題です。

（委 員） 担当窓口は別になるのでしょうか。

（下浦課長） 実証運行しているデマンド型交通は総務課、福祉移送サービスは福祉課が窓口です。
移動支援サービス協議会を組織しており、今後どうしていくか協議しています。

（委 員） 利用者のことを考えると、窓口は一つにし、その人に合ったサービスを振り分けていただくことを提案します。どちらを利用するのかを役場で判断して偏りをなくすとドライバーの確保につながると思います。

（委 員） 現在は顔の知っているところ、使い慣れているほうを選ぶのが利用者の意見だと思います。

（下浦課長） 福祉課で移動サービスの相談を受けているので、これからも継続していきます。

【P25～ 健康づくりの推進】

（意見無し）

【P34～ 医療体制の維持・充実】

（意見無し）

【P85～ 環境衛生・美化対策の充実】

（委 員） ごみステーションの管理は原則行政区となっていますと思いますが、最近では行政区に加入しない人がいます。帯広市では町内会には加入しなくてもごみステーションは利用するので、町内会費を２段階にしています。村でも行政区加入の統一したルールがあると良いと思いますが検討できないでしょうか。

（平山課長） ごみステーションの管理も、村ではマナーが悪い人の指導などを行っています。行政区の判断もあるかと思います。

(渡辺課長) 帯広市、幕別町はごみステーションの設置を町内会で行っているため、自主的な判断ができるようになっていますが、村は行政が設置しており、行政区に管理をお願いしています。
行政区加入をメリットで判断する方が増え、難しい社会問題と捉えています。

(委 員) 最近ボックス型のごみ箱を設置している場所を見かけますが、今後切り替えていく方針でしょうか。

(平山課長) 現在検証している段階です。耐雪性やごみが量などを検証し、ボックス型への移行を検討しています。

(委 員) 単身住宅のごみステーションは管理が難しいという認識です。
箱型への切り替えはいいと思います。優先順位など公平性も検討しなければいけないとは思いますが。

(平山課長) マナーの悪い場所を中心に切り替えを進めていきたいと考えています。

【P99～ 消防・救急体制の充実】

(委 員) 消防団の平日の訓練について、仕事と訓練、どちらを優先することになるのでしょうか。

(山澤署長) 平日の日中に行うものは訓練ではなく行事になるかと思います。職場の理解を得ながら参加していただきたいと思います。消防団の訓練は朝と夕方、団員の意見を聞いて団が計画して実施しています。

(後藤部会長) それでは、全体を通して何かありますか。
ご意見など無ければ今日の審議はこれで終了したいと思います。
その他、事務局から何かありますか。

(加藤補佐) 本日は、村民の皆様に直接関わりのある8つの節について、貴重なご意見をいただきありがとうございました。
政策評価書及び今回の議事録については、発言者の氏名は伏せた状態で、後日、村HPで公開することになっていますので、よろしくお願いします。
次に、次回会議についてお知らせします。次回は全体会議となり、11月上旬に「公共施設利用料の改定」について審議を予定しています。

(後藤部会長) 以上をもちまして財政部会を終了させていただきます。長時間にわたり大変お疲れ様でした。

(閉 会) 19:40